

■ 春季低学年大会(文京区主催若獅子旗選抜予選) 実施要綱

- ① 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚え、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 参加資格：男女共に小学4年生以下の編成で、文京区開催日程に対応できるチーム(合同チーム可)とする
- ③ 試合方法：
 - ・一回戦から準決勝までは当該対戦チームで試合を行い、決勝戦のみ連盟開催とする
 - ・試合時間は60分、もしくは5回までとする。
 - ・本投間は14m、塁間は21mで行う。試合球はナガセケンコー **J号**。
 - ・すべて3回以降7点差でコールド成立。日没や雨天は3回で成立。
 - 3回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、および3回以降タイゲームで中止になった場合は再試合とする。
 - ・同点の場合は1回のみタイブレーク方式(無死一・二塁、継続打順)を実施し、決着がつかない場合は抽選とする
 - ・試合中は打者、次打者、走者、コーチ(選手)はヘルメット着用のこと。捕手は防具、防護用ヘルメット、スロートガード付きマスク、ファールカップを着用のこと。
 - ・選手の肘・肩の障害防止を考慮し、1試合かつ1日の投球数は60球以内、**1週間の投球数を180球以内**とする。なお、試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃が完了するまで投球できる。ボークにかかわらず投球したものは球数に数える。タイブレークとなった場合、1日の投球数以内に投球できる。また一度退き野手となった場合、**再登板できる**。
 - ・幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が10得点を超えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代(チェンジ)とする。(文京区低学年特別ルールを適用)
 - ・チームのユニホームを着用し、指導者番号(28~30番)をつけた監督及びコーチに限り、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める。
 - ・ボークについては1回目から宣告する。
 - ・守備側、攻撃側、監督のタイムは各々3回とする。
 - ・**指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手は採用しない。**
 - ・バットは、JSBBマークのついた公認のものを使用すること。ただし、安全性を考慮し、打球部にウレタン・スポンジ等の素材の弾力体を取り付けたバットの使用を禁止する
 - ・**監督は、公認学童コーチ等の資格を保有すること。監督が資格を保有していない場合、ベンチ入りする者の最低1名が保有すること。**
 - ・その他は公認野球規則、全軟連特別規則に準ずる
但し、連盟使用グラウンド以外を使用して試合する場合、当該会場によるローカルルールがある時はそのルールに準ずる
 - ・試合結果は、勝者チームから事務局へ速やかに所定の書式で結果報告を行う

2026年5月31日
多摩区少年野球連盟
事務局／審判部